

福音の園だより

【第二十号 二〇〇六年 八月 七日発行】

350・0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一

特定非営利活動法人 福音の園 埼玉 事務局

☎ 049・230・1111

FAX 049・230・1112

紀行文 モンゴル見聞録(その1)

M・S

私たちは「ホランの会」という、草の根交流活動に加わっています。モンゴルの子供たちを日本に招聘して、ホームステイしてもらおう。そして又、日本の子供たちも、モンゴルへ行つて来る。という活動です。その活動の一環として、六月二三日から七月三日に、モンゴル国を訪問しました。九六才になる母は、福音の園にお世話になっていらっしゃるおかげで、安心して行つて来ることができました。ありがたいことだと思っております。杉澤ホーム長に出発前に、このお話をすると、モンゴルの老人施設を調べて来て欲しいと頼まれました。直接の取材は、叶いませんでしたが、以下は、モンゴルからのレポートです。

モンゴルは、日本の四倍の面積を持ち、そのほとんどが草原。人口は二百五十万人で、人口密度は、世界一低い。首都のウランバートルに人口の40%近く(約九〇万人)が集中している牧畜の国。ウランバートルには、老人施設は二ヶ所だけ。しかも病気で動くことが出来ない老人だけを収容しているとのことだった。

モンゴルは、発展途上国であり、平均寿命が二〇〇二年に六六才。その後は二才ほど伸びて、現在は六八才。女性はこれよりも少し短い。過酷な労働、出産事情や乳児の死亡率が高いということもあるのだろう。この国の人々は、家族、親族の結びつきが非常に強く、また年寄りを大変尊重する。長子から順に親元を離れていくので、老親は、末つ子と住むことが多いようだ。兄弟や親戚が近くに住んでいるので「老人施設」という概念はまだないのだろうと思われる。また、国の福祉政策も、そこまで手が届いていないようだ(続く)。

視察来園者の声

春学期の老人福祉論演習の締めくくりに

尚美学園大学 総合政策学部教授 堀の内 敬

春学期の老人福祉論演習の締めくくりにお伺いしましたが、学生は、講義と異なる実際の施設見学により、多くのことを学ぶことができました。キリスト教精神に基づき、家庭的な環境で生活されているお年寄りの方々の穏やかな表情とゆったりとした清潔な空間が印象的です。こちらが挨拶すると、丁寧に挨拶をして頂きました。隣りの緑の公園からは、賑やかな声が聞こえてきます。短期間にここまでグループホームを発展させることができたのは、ホーム長をはじめとする職員の皆様のご尽力並びに多くの方々のご支援によるものと拝察いたします。

七月で演習は終了しましたが、学生の思い出に強く残り、これからの学生生活の糧になるものと考えています。

末筆になりましたが、福音の園・川越の皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

ボランティアの声

言葉では伝え切れない良さを感じて

「私の職場はね、すっごく素敵な所なのよ！」と、友達は会う度に話してくれていました。自分の職場に誇りを持ち、利用者様を家族の様に愛する様子が伝わってきて、私の心は動かされました。そんな素敵な所ならば是非拝見したいと、一日だけのボランティアを体験させていただきました。そして「百聞は一見に如かず」などと、私は言葉では伝え切れない良さを感じてきました。

明るく風通しが良く清潔で、狭い我家に帰るのが嫌になる程、居心地の良いホームでした。

職員と利用者様との関係も、家族や友達のようなでしたし、皆さん良い方たちばかりでしたので、私もすぐに打ち解けることができました。楽しい時間を過ごすことができ、快く迎え入れて下さり、ありがとうございました。(川越市 Y・M)

御礼

笹竹(七夕飾り用)

K・K様(川越市中小居)

白菜、レタス

S・Y様(長野県佐久市)

バザー開催へのお願ひ

地域の方々にもむけた「開園二周年記念バザー」を、左記のとおり開催いたします。

日時・十月二日(土)、九時半～十一時半

場所・屋内(日用品、喫茶コーナー、他)

屋外(寄せ植え鉢即売、焼き芋、他)

タオル・衣類(新品)・日用品(保存のきく物)など、ご自宅で眠っているバザー用の家庭用品がございましたら、ご協力をお願いいたします。

(グループホーム福音の園・川越 ホーム長 杉澤 卓巳)